

公益社団法人 日本航海学会  
第150回講演会・研究会 プログラム

5月30日（木）

令和6年5月2日版

会場	第1会場(セミナー室(3))	第2会場(セミナー室(4))	第3会場(多目的教室)
	第1セッション 座長：調整中	第3セッション 座長：調整中	第5セッション 座長：調整中
10:00-10:20	講演番号：K150-01 船体動揺監視IoTシステムの開発 学生会員○小森 健史（東京海洋大学） 正会員 久保 信明（東京海洋大学）	講演番号：K150-10 MMGモデルを用いた肥大船の操船制御に関する研究 正会員○井上 知哉（古野電気株式会社）非会員 前野 仁（古野電気株式会社） 非会員 伊藤 翔（株式会社商船三井）非会員 田中 辰喜（川崎重工業株式会社）	講演番号：K150-20 ドローンによる航路標識保守に関する基礎的検討 正会員 竹内 謹治（海上保安庁） 正会員○益原 和臣（海上保安庁） 非会員 品野 馨（セアソフト・パース株式会社） 非会員 田中 一幸（海上保安庁）
10:20-10:40	講演番号：K150-02 データ駆動ベジアンネットワークを用いた船舶輻輳海域における海難事故分析 正会員○鮫島 拓也（海上保安大学校）	講演番号：K150-11 船員の疲労調査に関する研究 -PVT計測と自覚症状調査による事例検討- 正会員○谷水 聖奈（鳥羽商船高等専門学校） 正会員 田村 祐司（東京海洋大学） 正会員 小島 智恵（鳥羽商船高等専門学校） 正会員 竹本 孝弘（東京海洋大学）	講演番号：K150-20 富山湾沿岸での令和6年能登半島地震前兆現象と津波 終身会員○河合 雅司 非会員 門村 英城（富山高等専門学校） 正会員 西井 典子（鳥羽商船高等専門学校） 正会員 亀井 志聖（富山高等専門学校）
10:40-11:00	講演番号：K150-03 海洋構造物調査無人化を目指した機能開発用UUVプラットフォームの構築 学生会員○天野 倅希（東海大学） 正会員 渡邊 啓介（東海大学）	講演番号：K150-12 船底塗料の剥離作業の効率化に関する研究 ~ 塗料の付着力調整の検討 ~ 学生会員○佐藤 次郎（大島商船高等専門学校） 正会員 千葉 元（大島商船高等専門学校） 正会員 村田 光明（大島商船高等専門学校）	講演番号：K150-21 海洋構造物の最適メンテナンススケジューリングシステムの構築 正会員○竹内 海智（神戸大学） 正会員 笹 健児（神戸大学）
11:00-11:20	講演番号：K150-04 パラメトリックロールを避けるためのウェザールーティングに関する一考察 正会員○藤本 航（一般財団法人日本海事協会） 非会員 武田 勝利（一般財団法人日本海事協会） 非会員 石橋 公也（一般財団法人日本海事協会）	講演番号：K150-13 大型客船の出入港安全基準に関する研究-その場回頭の検討- 学生会員○大野 遼太郎（神戸大学） 正会員 世良 亘（神戸大学）	講演番号：K150-22 地震津波来襲を想定した港湾における中小型船の在船状況に関する一考察 正会員○榎原 繁樹（東海大学） 正会員 木村 安宏（大島商船高等専門学校） 正会員 笹 健児（神戸大学） 正会員 矢野 吉治（神戸大学名誉教授） 正会員 久保 雅義（神戸大学名誉教授）
11:20-12:10	休憩		
12:10-13:50	総会（越中島会館2階 講堂）		
14:00-14:30	フレッシュマン講演奨励賞判定会議（セミナー室(3)）		
14:30-14:40	休憩		
会場	第1会場(セミナー室(3))	第2会場(セミナー室(4))	第3会場(多目的教室)
	第2セッション 座長：調整中	第4セッション 座長：調整中	第6セッション 座長：調整中
14:40-15:00	講演番号：K150-05 漁業実習船におけるプロペラ材質変更の効果に関する研究 正会員○清水 健一（長崎大学） 正会員 山脇 信博（長崎大学） 正会員 森井 康宏（長崎大学） 非会員 山本 匡也（東京海洋大学） 非会員 筒井 英人（長崎大学） 非会員 井上 俊之（ナカシマプロペラ） 非会員 林 和也（ナカシマプロペラ） 非会員 山磨 敏夫（ナカシマプロペラ）	講演番号：K150-14 LSTMモデルを用いたLNG船スポット運賃決定要因に関する研究 学生会員○金 埜成（東京海洋大学） 正会員 渡部 大輔（東京海洋大学）	講演番号：K150-23 韓国の海洋警備法改正が日本の竹島哨戒活動に与える影響 - 韓国のMDA（海洋状況把握）が目指すもの - 正会員○野中 健一（海上保安大学校）
15:00-15:20	講演番号：K150-06 最新気象予報技術を活用した運航判断-4 - 強風遭遇リスクを考慮した離着陸可否評価 - 正会員○瀧地 義法（神戸大学） 正会員 大澤 輝夫（神戸大学） 正会員 林 美鶴（神戸大学）	講演番号：K150-15 折りたたみコンテナの集積個数とトレーラおよびコンテナの待機時間との関連性に関する考察 正会員○新谷 浩一（東海大学） 正会員 永岩 健一郎（鹿児島高専） 非会員 高嶋 晃琉（神戸大学）	講演番号：K150-24 企画セッション 座長：三好 晋太郎（三井E&S造船株式会社） テーマ：内航海運における働き方改革×DXの活用 1) 海運DXの可能性 講演者：東京海洋大学 教授 清水 悦郎（正会員） 講演概要：単なるデジタル化ではなく、DXと言えるために、どのようなことを考えるべきか
15:20-15:40	講演番号：K150-07 両舷に搭載された風向・風速計による船上風計測特性の把握 正会員○林 美鶴（神戸大学） 非会員 増田 千輝（神戸大学） 非会員 廣川 綜一（神戸大学）	講演番号：K150-16 修学旅行生が利用した小型旅客船の転覆事故発生時における避難行動に関する考察 正会員○中山 光成（今治明德短期大学）	2) MEGURI2040における自律船開発と安全・効率運航への取り組み 講演者：株式会社MTI 中村 純（賛助会員） 講演概要：MEGURI2040ステージ2にて開発を進めている自動運航船のコンセプト及び自動運航船により想定されている乗組員及び関係者のオペレーションの変容を説明するとともに、今後の社会実装に向けた取り組みについても紹介する。
15:40-16:00	講演番号：K150-08 海事教育におけるアクティブラーニング型授業の学習評価法に関する研究 正会員○布目 明弘（富山高等専門学校） 非会員 熊崎 萌来（富山高等専門学校） 正会員 國枝 佳明（富山高等専門学校） 正会員 竹本 孝弘（東京海洋大学）	講演番号：K150-17 関門海域における漁船と一般航行船舶との競合緩和に向けた意識調査 -遊漁船従事者・水先人・内航船実務者らの比較- 正会員○酒出 昌寿（水産大学校） 正会員 瀧 真輝（神戸大学） 正会員 杉野 亮介（水産大学校）	3) 内航海運における船員・運航・書類管理におけるDXアプローチ 講演者：宇部興産海運株式会社 船舶本部船舶部長 中藤 雅範（賛助会員） 講演概要：内航海運会社におけるDXを活用した就労管理方法などの船舶管理、運航スケジュール管理や位置情報管理などの運航管理、ドキュメント管理等の取り組みについて紹介する。
16:00-16:20	講演番号：K150-09 瀬戸内海地域産業史を取り入れた練習船乗組員による海洋教育の実践と効果 正会員○清田耕司（広島商船高等専門学校） 正会員 藪上敦弘（広島商船高等専門学校） 正会員 岸 拓真（広島商船高等専門学校） 正会員 千葉 元（大島商船高等専門学校）	講演番号：K150-18 離島航路の母港変更に関する研究 正会員○行平 真也（九州産業大学）	4) 船員保険が提供する「船員の健康づくり宣言」と「遠隔医療」等 講演者：全国健康保険協会船員保険部 講演概要：船員保険部が提供している、①「船員の健康づくりに取り組む船舶所有者を支援する仕組み」と②スマートフォンや電話等の情報通信機器を通じた遠隔医療の仕組みについてご紹介します。
16:30-17:00	航海功績賞 受賞講演 「一般社団法人 日本船長協会」(越中島会館2階 講堂)		
17:00-17:45	第150回講演会記念講演会 東京海洋大学 清水 悦郎教授 (越中島会館2階 講堂)		
18:00-20:00	情報交換会（東京海洋大学越中島キャンパス WORLD MARINE Café）		

講演者へのお知らせ：講演会の運営について

- 講演時間は、発表15分、質疑応答5分です。
- 発表開始の後、12分で1鈴を、15分で2鈴を鳴らして発表時間の終了をお知らせします。  
15分を経過してもまだ講演が続いている場合には、16分で3鈴を鳴らし、その時点で発表を打ち切っていただけます。また20分の講演終了時間は長鈴にてお知らせいたします。

参加者へのお願ひ：質疑応答について

- 質疑応答におけるご質問の際には、ご所属とお名前をお知らせ下さい。
- 時間の許す限り、活発なご討論をお願いいたします。

以上

公益社団法人 日本航海学会  
第150回講演会・研究会 プログラム

5月31日（金）

令和6年5月1日版

会場	セミナー室(3)	セミナー室(4)	多目的教室	コモンスペース
セッション名	航法システム研究会	シーマンシップ研究会	海洋工学研究会	海上交通法規研究会
09:30-12:00	<p>司会進行：福田 巖（東京海洋大学、航法システム研究会幹事） 資料が届き次第、航法システム研究会HPにアップします。 <a href="http://navsystem.j-navigation.org/">http://navsystem.j-navigation.org/</a></p> <p>プログラム 10:00-10:10 「研究会長挨拶」 川崎 潤二（水産大学校、航法システム研究会会長）</p> <p>10:10-10:50 「海上交通に関する最新の技術開発政策動向について（仮）」 竹内勳治 様 （海上保安庁交通部企画課国際・技術開発室 課長補佐）</p> <p>10:50-11:30 「船内情報システムの歴史は航路標識測定船から始まった」 五十嵐 耕 様 （セナーアンドバーンス株式会社 代表取締役社長）</p> <p>11:30-11:40 「質疑応答・総合討論（福田） ・閉会挨拶（川崎会長）」</p> <p>* 終了次第、運営委員会を行います</p>	<p>09:30-09:35 会長挨拶</p> <p>(講演1) 09:35-10:05 「船員養成の今と今後」 万谷小百合 氏（独立行政法人 海技教育機構）</p> <p>(講演2) 10:05-10:35 「内航海運とシーマンシップ」 真治 正章 氏（栗林商船株式会社 船舶部副部長海務監督）</p> <p>(講演3) 10:35-11:05 「AIはシーマンシップを獲得できるのか ～海上衝突予防法と避航アルゴリズムの関係を中心に～」 藤原（森田）紗衣子 氏（一財）日本船舶職員養成協会近畿）</p> <p>(パネルディスカッション) 11:05-11:35 「これまでのシーマンシップを振り返って ～これからのシーマンシップへSteady, as she goes」</p> <p>パネラー 歴代会長 初代 古荘雅生 氏、第2代 竹本孝弘 氏、第3代 國枝佳明 氏</p> <p>11:35-12:05 自由討論 12:05-12:10 閉会の挨拶</p>	<p>1. 内 容：講演会（タイトル「海洋工学から見た離島航路」） 2. 日 時：2024(令和6)年5月31日(金)10:00～12:00（受付09:45開始予定） 3. 場 所：東京海洋大学越中島キャンパス構内 4. 講演内容：離島航路の抱える問題点と今後の離島航路の維持・発展に向けて海洋工学的な知見から話題提供します</p> <p>5. プログラム内容 10:00～10:05 開会のあいさつ（鎌田功一海洋工学研究会会長） 10:05～10:35 離島航路の現状と課題（行平真也（九州産業大学）） 10:35～11:05 海洋工学からみた離島航路についての話題提供（南清和（東京海洋大学）） 11:05～11:35 離島航路の新しい技術：自律航行船等の紹介（岸拓真（広島商船高専）） 11:35～11:55 総合討論 11:55～12:00 閉会の挨拶（鎌田功一海洋工学研究会会長）</p> <p>6. 参加申し込み 対面参加の方には事前申し込みは不要です。多くの方の来聴をお待ちしています。</p> <p>7. その他： Zoomによるオンラインも併用します。オンラインでのご参加には必ず事前申し込みをしてください。参加費の支払いを確認させて頂く場合があります。 詳細（事前申し込みのURLや締め切り日等）は海洋工学研究会HP（<a href="https://j-nav.org/maritechnews/">https://j-nav.org/maritechnews/</a>）にてお知らせします。</p>	<p>10:00-10:05 会長挨拶</p> <p>10:05-11:00 講演・質疑応答</p> <p>『ALEXANDRA 1/EVER SMART 衝突事件：（イギリス最高裁判所判決 2021年2月19日）—衝突のおそれの判断—』</p> <p>概要（仮） 海上衝突予防法第7条“衝突のおそれ”で、「船舶は、接近してくる他の船舶のコンパス方位に明確な変化が認められない場合は、これと衝突するおそれがあると判断しなければならない。」とされる。果たして、コンパス方位だけで“衝突のおそれ”を判断して良いのか？「ALEXANDRA 1/EVER SMART 衝突事件」のイギリス最高裁判所判決から、講演いただく。</p> <p>講演者：小川総合法律事務所 海事補佐人 日本海事補佐人会 会長 岸本 宗久 先生</p> <p>11:10～運営委員会予定</p>
12:00-13:30	休憩			

会場	セミナー室(3)	セミナー室(4)	多目的教室
セッション名	操船シミュレータ研究会	GPS/GNSS研究会・航空宇宙研究会	海上交通工学研究会
13:30-16:00	<p>テーマ：シミュレータを用いた海技士の教育訓練（仮題目） STCW条約の包括的な見直し（HTW）の議論と課題</p> <p>1. （仮題目）STCW条約の包括的な見直しの動向とシミュレータ訓練を含めた海事教育の国際的動向 （仮副題）—IAMU Simulator Exercise Database(SimED)プロジェクトを例に— 講演者：森 勇介（IAMU（国際海事大学連合）事務局次長）</p> <p>2. （仮題目）シミュレータを用いた教育訓練及び評価法について （仮副題）—操船シミュレータ研究会プロジェクト研究のレビューを中心に— 講演者：操船シミュレータ研究会（未定）</p>	<p>1. 「IMU/MEMSの最新技術」（Louis J Ross, MEI Micro）</p> <p>2. 「ダイバーのための低コストIMUを用いた水中ナビゲーションシステムの開発」 林泰聖（防衛大学校）</p> <p>3. 「画像による航法」 毛塚敦（電子航法研究所）</p> <p>4. 「ドローン空撮画像からの安全な着陸地点検出」 浦久保孝光（神戸大学）</p> <p>5. 「LEO衛星を用いたドップラー航法」 松藤尚也・辻井利昭（大阪公立大学）</p>	<p>（開催概要） 我が国の海上交通安全に関わる海上交通センターを中心とした事業や取組み、将来などについての特別講演【来聴歓迎】</p> <p>（プログラム） 13:30 - 13:35 開会あいさつ</p> <p>13:35 - 14:30 特別講演 講演テーマ：我が国の海上交通センターの現状について（仮） 講演者：海上保安庁 交通部 企画課 海上交通企画室長 花野 一誠 様</p> <p>14:30 - 14:55 質疑応答・意見交換</p> <p>14:55 - 15:00 閉会あいさつ</p>
16:00-18:00	研究委員会(セミナー室(2))		

5月31日（金）

【研究会による見学会】

セッション名	物流研究会
	<p>トラスコ中山株式会社 <a href="https://www.trusco.co.jp/">https://www.trusco.co.jp/</a> プラネット埼玉 〒340-0194 埼玉県幸手市神明内赤木988番7</p> <p>5月31日（金） 13:00～ 会社概要・プラネット埼玉について 13:30～ 庫内見学 15:00～ 意見交換 16:00 終了</p> <p>最寄り駅からタクシーで移動 どなたでも参加できます。名簿の提出がありますので、希望者は5月7日（火）までに氏名、所属、電子メールアドレスを物流研究会までご連絡ください。</p>

\*内航海運研究会は、初日(5月30日)に開催します。